

Barracuda Spam & Virus Firewall は既存のメールサーバの前段に配置し、スパムメールとウィルスをブロックするアプライアンス製品です。メールサーバと同様に、IP アドレスを割り当ててネットワークに物理的に配置します。一般的には、DMZ に配置するかまたは既存のファイアウォールの後段に配置します。Barracuda Spam & Virus Firewall はメールサーバの前段でスパムメールとウィルスを包括的にブロックします。

1

はじめに

この資料は Barracuda Spam & Virus Firewall の導入手順を纏めたものです。円滑に導入を行うために、作業を開始する前にこの手順書をお読み下さい。

Barracuda Spam & Virus Firewall の導入に必要な物は以下のとおりです。:

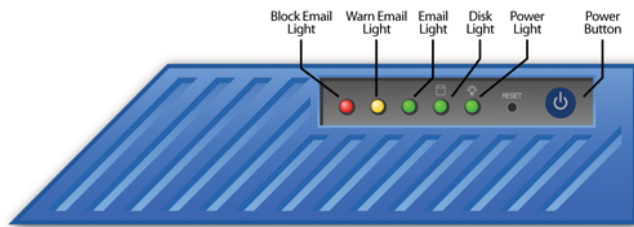
- Barracuda Spam & Virus Firewall
- AC 電源ケーブル (製品に同梱されています。)
- ラックマウントレールキット(モデル 600/800/900 限定)
- VGA モニター(推奨)
- PS2 キーボード (推奨)

2

物理的な導入

Barracuda Spam & Virus Firewall の物理的な導入を行います。

1. Barracuda Spam & Virus Firewall を 19 インチラックに設置するか、またはその他の安定した場所に設置します。
2. お使いのスイッチからバラクーダ背面にあるイーサネットポートにイーサネットケーブルを接続します。
3. VGA モニター、PS2 キーボード、AC 電源ケーブルを Barracuda Spam & Virus Firewall に接続します。注意: AC 電源ケーブルを接続すると直後に電源が数秒間 ON になり、その後 OFF になります。
4. フロントパネルにある電源スイッチ(Power Button)を押して、電源を入れます。



3

IP アドレスの設定

モニターを接続している場合、まず始めにブートメニューが表示され、ブート後に管理者コンソールのログイン画面が表示されます。

1. 管理者の ID/PASSWORD を用いて管理者コンソールにログインします。:

- **Login:** admin
- **Password:** admin

```
barracuda login: admin
password:
```

2. IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイ、プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバを正しく設定します。
3. 設定した内容を保存します。

モニターとキーボードを用いずに、フロントパネルにあるリセットボタンを一定時間押し続けることで下記の IP アドレスを設定することができます。:

IP アドレス	秒数
192.168.200.200	5 秒
192.168.1.200	8 秒
10.1.1.200	12 秒

4

ファイアウォールの設定

Barracuda Spam & Virus Firewall をファイアウォールの後段に設置する場合、以下のようにポートを設定する必要があります。

ポート	方向	TCP	UDP	用途
22	Out	Yes	No	リモート診断 (推奨) *
25	In/Out	Yes	No	電子メール受信、バウンスメール送信
53	Out	Yes	Yes	ドメインネームサービス (DNS)
80	Out	Yes	No	ファームウェア更新、スパム/ウィルス定義更新
123	Out	No	Yes	NTP

*ポート 22 番はリモート診断を実施する場合に必要になります。

5

Barracuda Spam & Virus Firewall の設定

Barracuda Spam & Virus Firewall と同じネットワークに接続された PC から Web ブラウザにより以下の手順で設定を行います。

1. ブラウザのアドレスバーで http://に続いて「バラクーダの IP アドレス」、デフォルトの Web インターフェース http ポート「:8000」を入力します。バラクーダの IP アドレスが 192.168.200.200 の場合 http://192.168.200.200:8000 と入力します。
2. ユーザ名: admin、パスワード: admin で管理者として Barracuda Spam & Virus Firewall の Web 管理インターフェースにログインします。
3. 「基本設定」の「IP 設定」画面を開き、以下の手順を行います。
 - IP アドレス、サブネットマスク、デフォルトゲートウェイが正しく設定されていることを確認します。
 - メールを配送したい送信先サーバ名または IP アドレスを「サーバ名/IP」に入力します。例: サーバ名/IP: mail.yourdomain.com
 - プライマリ DNS サーバ、セカンダリ DNS サーバが正しく設定されていることを確認します。

- デフォルトのホスト名とデフォルトのドメインを入力します。ここで入力した内容がバウンスメールに適用されます。例えば、ホスト名に **barracuda** ドメイン名に **yourdomain.com** と入力します。
 - 許可する受信ドメインには、後段のメールサーバで受信するドメインを入力します。ドメイン名を入力する度に「追加」をクリックします。注意：ここに入力されていない受信ドメイン宛てにきたメールは全て拒否されます。
4. 「変更保存」をクリックし、設定内容を保存します。

6 ファームウェアの更新

「高度な設定」の「ファームウェア更新」画面を開きます。利用可能な最新バージョンがダウンロード可能な状態であれば、以下の手順でシステムファームウェアの更新を実施します。

1. インストールしたいファームウェアバージョンの隣にある「今すぐダウンロード」をクリックします。ダウンロードの進捗状況を確認したい場合には、「更新」をクリックします。ダウンロードが完了した場合には、「更新」の代わりに「今すぐ適用」が表示されます。
2. 「今すぐ適用」をクリックし、ファームウェアをインストールします。ファームウェアの適用が完了するには数分間かかります。ダウンロードや適用を実施している最中に、バラクーダの電源を切らないで下さい。バラクーダの故障の原因となります。
3. ファームウェアが適用されると **Barracuda Spam & Virus Firewall** は自動的に再起動し、システムが起動した際には、ログイン画面が表示されます。
4. 再度ブラウザからログインし、リリースノートを参照することを推奨します。また、ファームウェアの更新により機能が追加されている場合がありますので、設定項目を確認することを推奨します。

7 管理者パスワードの変更

セキュリティ上、デフォルトのパスワードから任意のパスワードに変更して下さい。パスワードの変更はブラウザからのみ実施できます。

1. 「基本設定」の「管理」で現在のパスワードと変更後のパスワードを入力
2. 「パスワードの保存」をクリック

8 製品登録

「基本設定」の「ステータス」画面でエネルギー充填サービスが正常に提供されていることを確認します。「エネルギー充填サービス ステータス」でエネルギー充填サービスが「有効」になっていることを確認して下さい。エネルギー充填サービスが有効になっていない場合には、ご購入頂いた販売代理店までお問い合わせ下さい。

9 電子メール経路の設定

Barracuda Spam & Virus Firewall でスパム、ウィルスの検知を行うために、受信メールの経路を変更する必要があります。メール経路の変更方法は以下の2つです。

- **ポート転送:** 受信メールの経路を **Barracuda Spam & Virus Firewall** に経路を向けるために、既存のファイアウォールのポート転送設定を変更します。設定については、ファイアウォールに付属の説明書を参照して下さい。
- **MX レコード:** DNS に新しいレコードを追加し、**Barracuda Spam & Virus Firewall** 経由でメールの受信が行えるように **MX** レコードを設定する必要があります。一般的に、この作業は自身の **DNS** サーバか外部の **DNS** サーバで行います。

例: **Barracuda Spam & Virus Firewall** のレコードの追加

```
barracuda.barracudanetworks.com IN A 66.233.233.88
```

例: **MX** レコードの設定 IN **MX** 10

```
barracuda.barracudanetworks.com
```

DNS サーバによりますが、**DNS** 設定については、上記の例を参考にして下さい。注意：**DNS** の中には過去の情報を7日間程度キャッシュするものがあります。そのため、新しい **MX** レコードがすぐに有効にならない場合があります。

10 注意事項

- メール中継設定もしくは、アウトバウンドモードを使用していない限り、**Barracuda Spam & Virus Firewall** を経由したメールの送信を行わないで下さい。
- メールを正しく受信するために、**Barracuda Spam & Virus Firewall** 以外でのスパムチェックを **OFF** にすることを推奨します。

11 スコアリングしきい値の設定

デフォルトの設定では、**Barracuda Spam & Virus Firewall** はスパムメールをタグ付け配送する設定になっています。スパムメールの件名の先頭に **[BULK]** という文字列を挿入します。件名に文字列を挿入することで、クライアントソフトウェアの設定を行うことでスパムメールを別フォルダに振り分けを行うことができます。「基本設定」の「スパムスコアリング」にて、スコアリングのしきい値を任意の値に変更できます。始めはタグ付けのみを有効にし、メッセージログでスコアの傾向を分析したのちに必要に応じて設定変更することを推奨します。

以下のサイトより管理者ガイドをダウンロードすることができます。

<http://www.barracuda.com/documentation>